



# YMCA

月刊 The YMCA 付録  
 編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地  
 大阪青年 発行: 末岡祥弘 編集: 大阪 YMCA 広報室  
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6  
 TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
 URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
 (年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

## 大阪青年

2012. 1/2

Jan/Feb No. 646

### インデックス

- 1面 新春メッセージ 地の塩
- 2~3面 歩み始めた新しいはたらき 協力会員・賛助会社
- 4面 YMCA通信 年間聖句募集 風の人士の人

### 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人のびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

### 2011年度【年間聖句】

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい」(新共同訳:ローマの信徒への手紙12章12節)

## 新春メッセージ

### —創立130周年をむかえて—

# 大阪YMCAの新しいはたらき

## 大阪YMCA総主事

末岡祥弘

「主は曙の光のように必ず現れ、降り注ぐ雨のように 大地を潤す春雨のように 我々を訪れてくださる」(ホセア書 6:3)

新しい年を様々な感慨を持って迎えられる方が多い事と思います。

昨年3月11日以降に起こった出来事は、「なぜ」という言葉のうちに数多くの人に苦難と悲しみをもたらし、社会が抱えてきた課題と矛盾をあらわにしました。

「わたしたちは今どこにいて、どこに進むのか?」「何を判断の基準として生きるのか?」多くの人がこの問いを突きつけられて迷っています。同時に私たちが受け継いできた生きていく事への真摯さ、人を思いやる心情、絆や文化などを誇るべき事柄も顕在化しました。

世界中の人から寄せられた善意と支援からは世界と地域がもはや密接に繋がっており、それを繋げているのがインターネットである現実が再認識させられた反面、人と人が共に話して笑って泣いてという直接コミュニケーションの重要性を今ほど感じる時もありません。YMCAはこれらの現実の中、東北で世界で人々と共に歩んでいかなければなりません。

今年、大阪YMCAは創立130周年を迎えます。

社会が戦後復興に向けて大きく動き出す1950年、大阪YMCAは地域での働きを広げる為、「青少年のためのアベノ橋ランチ」を開設しました。それは新しい社会へ向う旗印であり、経済成長が生み出す社会課題に対する諸事業が推進されてきました。以来60年、社会の変化は課題を複雑化し、国内では前述の大震災・津波・原発事故が、地球大では貧困・人権・平和の課題が混迷の中にあります。当

時の運営構想のひとつに1964年の「メジャーポリシー(運営方針)」がありますが、その中に「これは変化に従って絶えず改善され発展されてゆくべき基準として活用されなければならない。特に若い人々は、これにより、これを乗り越えて、より大なる発展へ立ちむかって欲しい」という先人の願いが記載されています。YMCA運動の推進には「とき」を鋭敏に感じ取った大胆な変革が常に必要とされてきました。

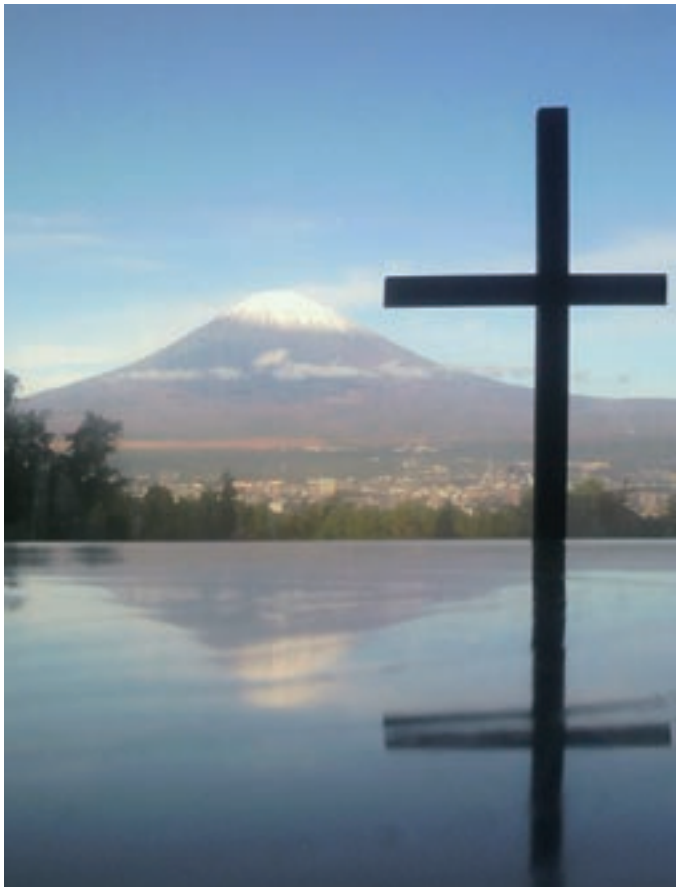
昨年、日本のYMCAの中で初の「公益財団法人」になった大阪YMCAは変革の旗印を再び建てる時が来ています。2012年、ネットワーク型福祉社会を目指し、チェンジメーカーとなる青年を育成「ための変革は、『新たな会員制度への改革、新しいYMCA支援者獲得方法(寄付、ファンドレイジング)の変革、グローバル社会で活躍する青少年を育てる』うめきた地区での「インターナショナルスクール」の進展、子育て支援ニーズに答える「猪名川町」での「こども館」の建設」等として具体的に進む予定です。

新しい年「主は曙の光のように必ず現れ、我々を訪れてくださる」恵みの中、皆様とともに進める働きが、悲しみと苦難の中にある被災された人々、支援いただく人々、地域の人々の中に、大地を潤す春雨のようにあたたかく広がっています。迷の中にあります。当

### 地の塩

▼年が改まった。「古き人を脱ぎ捨て、新しき人を着るべき」と聖書はすすめる(エフエロス4:22)。一方、司馬遼太郎は「歴史は生きた一つの

世界であり、将来への栄養素がいつぱいつまっている」(小学校国語教科書)と過去の大切さを教える。この二つの視点は対立するものではなく、同じ真理に立っている▼2011年という過去は、私たちにとって背負いきれない程の痛みを経験した大災害の年であった。東日本での大震災と大津波、そして原発の事故。紀州では台風による大水害▼17年前に阪神淡路大震災の苦しみを乗り越えた私たちは、YMCA運動の原点であるボランティアズを發揮してはたらいいた。その経験が、このたびの災害に対する支援活動の栄養源となつたに違いない▼昨年10月、カトリック系・プロテスタント系を超えて全国のキリスト教学校の関係者が大阪に集まって、この大災害に対するキリスト教学校のあり方を考え、「共同の祈り」の時を持った。特別に招かれた小学生、高校生の代表が捧げた祈り心は、隣人に対する私たちの心情的礎であった。キリスト教の隣人愛と、武士道の惻隱(そくいん)の情(いたわしく思うこと)とは、合い通じるものとして内村鑑三が追及した人間の根源的価値▼利便性と物質的豊かさを追い求めてきた欲求を、「古き人」として脱ぎ捨てよう。昨年の大災害の経験が、新年を迎えて私たちが着るべき「新しき人」の栄養源となることを信じる。(M・I)





# YMCA通信

プログラムのご案内は、大阪YMCAのHPでもご覧いただけます。http://www.osakaymca.or.jp

## 第225回(1月)・226回(2月) 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人々と一緒に祈る時(第3金曜日)を持っています。

YMCAの様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

第225回

日時 1月20日(金)  
7:30~8:30

証し 奥村 洋充(福岡YMCA出向スタッフ)

第226回

日時 2月17日(金)  
7:30~8:30

証し 眞嶋 克成  
(公益財団法人大阪YMCA理事)

場所 大阪YMCA会館  
問合せ 大阪YMCA国際・社会奉仕室  
Tel 06-6441-0894  
E-mail info@osakaymca.or.jp

## 堺市立日高少年自然の家

3月10日(土)~11日(日)の1泊2日の日程で、「堺市在住及び通勤、通学」の家族を対象とした「みかん狩りファミリーキャンプ」を行います。和歌山みかんのおいしい「三宝柑」を、みかん畑に行き、家族で収穫します。夜は、その三宝柑を使ってオリジナルのジャムを作ります。

また、3月25日から2泊3日で堺市の子どもを対象にした「スプリングキャンプ」を行ないます。「スプリングキャンプ」では、自然体験プログラムを通して、五感で自然を感じながら、「自然への気づき」と「日高地方の豊かな自然の」を体感できます。そして、友情も深めながら、日高の春を満喫します。



尚、両キャンプについての詳細はホームページをご覧ください。

堺市立日高少年自然の家(指定管理委託事業)  
Tel 0738-64-2871  
E-mail hidaka@osakaymca.or.jp

## とさぼり保育園

目と耳と心を傾けて聴くことを大事に「おはなしの時間」を持っています。キラキラ輝いた目や絵本に引き込まれていく姿、登場人物になりきって思わず目をふさぐ姿...

絵や言葉から感じる様々な思いやイメージを膨らませることで、子どもたちの心が豊かに育っていきます。私たち大人も子どもたちと感動を共有し、美しい言葉を選びながらゆったりとした気持ちで、優しい声で語りかける「おはなしの時間」を大切にしていきたいと思えます。子どもたちがいつまでも心に残る絵本に1冊でも多く出合えるように。



YMCAとさぼり保育園  
Tel 06-6449-4471  
E-mail toasbori-hoikuen@osakaymca.or.jp

## 堺YMCA

どんぐりスキーキャンプ参加者 ボランティア募集中  
堺YMCAでは、知的障がい児(小学1年生~満19歳までの男女15名)を対象にしたスキーキャンプを2012年2月3日(金)夕方~5日(日)夕方2泊3日で行います。

朝・昼はスキーや雪遊び 夜はみんなで楽しいゲーム大会を行い、冬の自然を満喫します。

また一緒にスキーや雪遊びをするボランティアの募集(対象18歳以上の方)をしています。みんなで八丈高原で冬の自然を満喫しよう!!

詳細については堺YMCAまでお問い合わせ下さい。

堺YMCA  
Tel 072-257-6764  
E-mail sakai@osakaymca.or.jp

## 土佐堀YMCAウエルネスセンター

土佐堀YMCAウエルネスセンターでは、4月より成人プログラムをリニューアルしました。新しくスタジオができベリーダンスやヨガなどのプログラムが増え、トレーニングエリアも地下2階から地下1階に引越しました。是非、一度プログラムにご参加ください。また、今年度よりクリスマス献金プロジェクトとして地域の合唱活動『歌声ひろば』を毎月1回開催しています。面白く歌指導してくださる筒井先生とピアノ伴奏の大北先生と一緒にみんなで楽しく歌を歌います。日本の素晴らしい童謡や唱歌、なつかしの名曲等をたくさん仲間と一緒に楽しみましょう。

日程:毎月最終週の木曜日14:00~16:00  
参加費:300円  
場所:土佐堀YMCA  
Tel 06-6441-0895  
E-mail tosabori@osakaymca.or.jp

## 徳島YMCA

11月3日(祝・木)と11月23日(祝・水)の2日間で、徳島YMCAサッカー大会を行いました。幼児32名・小学生138名のたくさんのお友だちが日頃の成果を発揮し、楽しんでサッカー大会を行いました。チームのみんなで力をあわせること、相手チームのお友だちを大切にすること、ルールの中で工夫をすることなど普段のクラスの中で、YMCAが大切にしていることを、サッカーを通じて一人一人が発揮しました。徳島県代表として第90回全国高校サッカー選手権大会に出場した徳島YMCAサッカークラブのOBの酒巻啓君も大会の応援に駆けつけ、「様々な人と楽しくサッカーをすることや、楽しむところをこれからももってください」とみんなにメッセージをいただきました。

徳島YMCA  
Tel 088-626-0035  
E-mail tokushima@osakaymca.or.jp

旅の疲れは若干残るものの到着  
関空からシンガポール、ヤンゴンを経由してマングラレーへ到着したのは出発から17時間後のことでした。



後から「おぼけ市場」やバゴダ(寺院)、ハンディークラフト(民芸センター)、金箔作りの工場見学、ウーベイン橋(160年以上も前に建設)を歩き、現地の舟に乗り込んで昔ながらの漁を見学しました。

一日の最後はマングラレーヒル(丘)からの夕陽を眺めました。緑広がる広大な地に沈みゆく夕陽は、これまでに見たこともない壮大な光景で何かしら母親に包み込まれるような優しさを感ずるものでもありました。

YMCA HI TO センターでは理事長をはじめ理事、職員30名を超える方々が私たちの訪問を歓迎してくださり、食事や歌、踊りで交流を深めました。今回、ミャンマーを訪問して感じたことは異国人である私たちが

このことは今回のツアーの大きな目的の達成でもありました。私たちが温かく迎えて下さったミャンマーの方々へ「チエジュディンバディ(ありがとう!)」(重信直人・中高齢者事業推進室スタッフ)

## 大阪YMCA『2012年度年間聖句・年間讃美歌』

### 公募のご案内

大阪YMCAでは、2012年度年間聖句・讃美歌を会員の皆様より公募いたします。年間聖句・讃美歌は、大阪YMCAにおける会合に提示され、多くの機会に唱えられます。YMCAに集う人々が、親しみを持って口ずさむことのできるものであることを願っています。多くの方々からの応募を心よりお待ちしております。

大阪YMCA常議員会  
活動推進委員会委員長 工藤 義正

【応募内容】 YMCAに集う方々にとって親しみを感じる年間聖句・年間讃美歌  
【応募締切り】 2月17日(金)  
【応募方法】 応募用紙に氏名、所属YMCA、連絡先、応募の聖句・讃美歌の箇所・番号、選んだ理由など必要事項を明記の上、メール、電話、FAX、郵送のいずれかで下記まで応募ください。  
※応募用紙はホームページよりダウンロードするか、下記までお申し出ください。  
HPアドレス http://www.osakaymca.or.jp/

【その他】 ●過去の年間聖句・讃美歌はホームページ(応募用紙)で確認いただくか、電話等でお問合せください。  
●応募に際しましては、大阪青年1ページ上段の大阪YMCAの使命をご照ください。

大阪YMCA統括本部 担当: うちだ たてやま 立山  
住所 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297  
E-mail info@osakaymca.or.jp